

授業科目	商業簿記・会計学Ⅱ		単位/時間	380h		
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース		担当教員	森 憲朗		
授業の目的・テーマ	大企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術の習得し、日常的に発生する取引を合理的・能率的に記帳する技術の習得を通して、取引の仕訳から決算までの簿記の応用的な仕組みや財務諸表の作成について学ぶ。					
授業の到達目標	極めて高度な商業簿記・会計学を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの法規を踏まえて経営管理や経営分析ができる。また、日本商工会議所主催の簿記検定試験1級及び全国経理教育協会主催の簿記能力検定上級の合格を目指す。					
授業の計画	1	3h	過去問題個別演習及び解説	26	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説
	2	3h	過去問題個別演習及び解説	27	4h	全経簿記上級対策
	3	3h	過去問題個別演習及び解説	28	1h	全経簿記上級対策
	4	3h	過去問題個別演習及び解説	29	1h	全経簿記上級対策
	5	3h	過去問題個別演習及び解説	30	4h	全経簿記上級対策
	6	3h	過去問題個別演習及び解説	31	4h	全経簿記上級対策
	7	3h	過去問題個別演習及び解説	32	4h	全経簿記上級対策
	8	3h	過去問題個別演習及び解説	33	1h	全経簿記上級対策
	9	3h	過去問題個別演習及び解説	34	1h	全経簿記上級対策
	10	3h	過去問題個別演習及び解説	35	4h	全経簿記上級対策
	11	3h	過去問題個別演習及び解説	36	4h	全経簿記上級対策
	12	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	37	4h	全経簿記上級対策
	13	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	38	1h	全経簿記上級対策
	14	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	39	1h	全経簿記上級対策
	15	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	40	4h	全経簿記上級対策
	16	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	41	4h	全経簿記上級対策
	17	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	42	1h	全経簿記上級対策
	18	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	43	1h	全経簿記上級対策
	19	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	44	4h	全経簿記上級対策
	20	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	45	4h	全経簿記上級対策
	21	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	46	2h	外貨換算会計
	22	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	47	10h	デリバティブ取引
	23	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	48	8h	有形固定資産
	24	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	49	6h	リース取引
	25	3h	総合問題演習（答案練習）及び解説	50	4h	投資その他の資産
授業の方法	講義及び答案練習					
テキスト	日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ合格テキスト・トレーニング TAC答案練習資料					
参考文献	過去問題集、会計法規集					
評価の方法や基準	学期末テスト、検定結果、答案練習結果、授業態度、出欠席、課題の提出					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	日商簿記1級及び全経簿記上級の合格を目指す為、自宅での復習が必要。確認テストで復習が出来ていない場合は、放課後補講を実施する。					

授業科目	商業簿記・会計学Ⅱ			単位/時間	380h	
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員	森 憲朗	
授業の目的・テーマ	大企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術の習得し、日常的に発生する取引を合理的・能率的に記帳する技術の習得を通して、取引の仕訳から決算までの簿記の応用的な仕組みや財務諸表の作成について学ぶ。					
授業の到達目標	極めて高度な商業簿記・会計学を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの法規を踏まえて経営管理や経営分析ができる。また、日本商工会議所主催の簿記検定試験1級及び全国経理教育協会主催の簿記能力検定上級の合格を目指す。					
授業の計画	1	2h	引当金	26	4h	総合問題演習及び解説
	2	6h	退職給付会計	27	4h	総合問題演習及び解説
	3	7h	社債	28	4h	総合問題演習及び解説
	4	9h	純資産	29	4h	総合問題演習及び解説
	5	9h	本支店会計	30	3h	復習答練
	6	4h	企業結合・合併	31	4h	総合問題演習及び解説
	7	3h	連結会計Ⅰ	32	4h	総合問題演習及び解説
	8	4h	連結会計Ⅱ	33	4h	総合問題演習及び解説
	9	4h	連結会計Ⅲ	34	4h	総合問題演習及び解説
	10	4h	連結会計Ⅳ	35	3h	復習答練
	11	5h	連結会計Ⅴ	36	4h	総合問題演習及び解説
	12	5h	連結会計Ⅵ	37	4h	総合問題演習及び解説
	13	5h	連結財務諸表の作成(演習)	38	4h	総合問題演習及び解説
	14	3h	株式交換・会社分割	39	4h	総合問題演習及び解説
	15	4h	株式交換・会社分割復習	40	3h	復習答練
	16	5h	外貨建財務諸表項目	41	25h	全経簿記上級対策
	17	7h	キャッシュ・フロー計算書	42	3h	全経簿記上級過去問個別演習及び解説
	18	14h	過去問題個別演習及び解説	43	3h	全経簿記上級過去問個別演習及び解説
	19	4h	総合問題演習及び解説	44	2h	全経簿記上級過去問個別演習及び解説
	20	4h	総合問題演習及び解説	45	3h	全経簿記上級過去問個別演習及び解説
	21	4h	総合問題演習及び解説	46		
	22	3h	復習答練	47		
	23	4h	総合問題演習及び解説	48		
	24	4h	過去問題個別演習及び解説	49		
	25	4h	総合問題演習及び解説	50		
授業の方法	講義及び答案練習					
テキスト	日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ合格テキスト・トレーニング TAC答案練習資料					
参考文献	過去問題集、会計法規集					
評価の方法や基準	学期末テスト、検定結果、答案練習結果、授業態度、出欠席、課題の提出					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	日商簿記1級及び全経簿記上級の合格を目指す為、自宅での復習が必要。確認テストで復習が出来ていない場合は、放課後補講を実施する。					

授業科目	工業簿記・原価計算Ⅱ			単位/時間			330h	
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員			湯浅 寿子	
授業の目的・テーマ	工企業における簿記の仕組みをより深く理解し、財務会計における考え方や計算方法および帳簿記入のみならず、管理会計における業績評価目的や経営意思決定目的を達成するための様々な手法を学習する。							
授業の到達目標	日商簿記検定1級合格レベルの知識を習得する。							
授業の計画	1	4/12	3h	日商簿記検定1級個別答案練習①	26	6/17	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習①
	2	4/15	3h	日商簿記検定1級個別答案練習②	27	6/18	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習②
	3	4/16	3h	日商簿記検定1級個別答案練習③	28	6/21	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習③
	4	4/19	3h	日商簿記検定1級個別答案練習④	29	6/24	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習④
	5	4/22	3h	日商簿記検定1級個別答案練習⑤	30	6/25	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑤
	6	4/23	3h	日商簿記検定1級個別答案練習⑥	31	6/28	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑥
	7	4/26	3h	日商簿記検定1級個別答案練習⑦	32	7/1	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑦
	8	4/30	3h	日商簿記検定1級個別答案練習⑧	33	7/2	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑧
	9	5/7	3h	日商簿記検定1級個別答案練習⑨	34	7/8	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑨
	10	5/10	3h	日商簿記検定1級個別答案練習⑩	35	7/9	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑩
	11	5/14	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習①	36	7/12	3h	全経簿記検定上級過去問答案練習⑪
	12	5/17	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習②	37	7/16	3h	工程別総合原価計算③加工費工程別
	13	5/18	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習③	38	7/19	3h	前期末試験対策
	14	5/20	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習④	39	7/25	3h	連産品の原価計算
	15	5/21	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑤	40	7/26	3h	連産品の原価計算
	16	5/24	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑥	41	7/29	3h	標準原価計算①基礎
	17	5/25	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑦	42	7/30	3h	標準原価計算②仕損・減損処理
	18	5/27	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑧	43	7/31	3h	標準原価計算②仕損・減損処理
	19	5/28	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑨	44	8/1	3h	標準原価計算②仕損・減損処理
	20	5/31	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑩	45	8/5	3h	標準原価計算③原価差異の会計処理
	21	6/1	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑪	46	8/6	3h	標準原価計算③原価差異の会計処理
	22	6/3	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑫	47	8/7	3h	標準原価計算④標準の改訂
	23	6/4	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑬	48	8/8	3h	本社工場会計
	24	6/7	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑭	49	8/26	2h	経営管理のための会計情報
	25	6/8	3h	日商簿記検定1級模擬答案練習⑮	50	8/27	4h	直接原価計算
授業の方法	講義及び答案練習							
テキスト	TAC日商簿記1級工業簿記・原価計算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 合格テキスト・トレーニング、TAC所得税法2級、TAC消費税法2級							
参考文献	TAC日商1級の中答練および日商1級過去問題集、全経所得税法最新過去問題集、全経消費税法最新過去問題集							
評価の方法や基準	授業態度・提出物・定期試験							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経験								
実務経験の活かし方								
履修上の注意事項	基本的な計算方法を復習し、応用問題に活かすこと。							

授業科目	工業簿記・原価計算Ⅱ					単位／時間			330h
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース					担当教員			湯浅 寿子
授業の目的・テーマ	工企業における簿記の仕組みをより深く理解し、財務会計における考え方や計算方法および帳簿記入のみならず、管理会計における業績評価目的や経営意思決定目的を達成するための様々な手法を学習する。								
授業の到達目標	日商簿記検定1級合格レベルの知識を習得する。								
授業の計画	1	8/28	3h	直接標準原価計算	26	10/16	3h	日商簿記1級模擬答案練習②	
	2	8/30	3h	企業予算の編成	27	10/18	3h	日商簿記1級模擬答案練習③	
	3	9/2	3h	CVP分析①原価の固定分解	28	10/19	3h	日商簿記1級復習答案練習①	
	4	9/3	4h	CVP分析②感度分析	29	10/21	3h	日商簿記1級模擬答案練習④	
	5	9/4	3h	最適セールス・ミックスの決定	30	10/22	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑤	
	6	9/6	3h	最適セールス・ミックスの決定	31	10/23	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑥	
	7	9/9	3h	事業部の業績測定	32	10/28	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑦	
	8	9/10	4h	予算実績差異分析①計算手法	33	10/29	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑧	
	9	9/11	3h	予算実績差異分析②セグメント別分析	34	10/30	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑨	
	10	9/13	3h	予算実績差異分析②セグメント別分析	35	11/1	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑩	
	11	9/17	4h	予算実績差異分析②セグメント別分析	36	11/2	3h	日商簿記1級復習答案練習②	
	12	9/18	3h	差額原価収益分析	37	11/4	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑪	
	13	9/20	3h	業務執行上の意思決定	38	11/5	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑫	
	14	9/24	4h	設備投資の意思決定①基礎	39	11/6	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑬	
	15	9/25	3h	設備投資の意思決定②CF予測	40	11/8	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑭	
	16	9/27	3h	設備投資の意思決定②CF予測	41	11/9	3h	日商簿記1級復習答案練習③	
	17	9/30	3h	ライフサイクルコストニング	42	11/11	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑮	
	18	10/1	4h	バリューエンジニアリング	43	11/12	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑯	
	19	10/2	3h	品質原価計算	44	11/13	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑰	
	20	10/4	3h	活動基準原価計算	45	11/15	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑱	
	21	10/7	3h	日商簿記1級個別答案練習	46	11/16	3h	日商簿記1級模擬答案練習⑲	
	22	10/8	4h	日商簿記1級個別答案練習	47	11/25	3h	全経所得税法2級基礎知識①	
	23	10/9	3h	日商簿記1級個別答案練習	48	11/26	3h	全経所得税法2級基礎知識②	
	24	10/11	3h	日商簿記1級個別答案練習	49	11/27	2h	全経所得税法2級過去問答案練習①	
	25	10/15	3h	日商簿記1級模擬答案練習①	50	12/2	3h	全経所得税法2級過去問答案練習②	
授業の方法	講義及び答案練習								
テキスト	TAC日商簿記1級工業簿記・原価計算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 合格テキスト・トレーニング、TAC所得税法2級、TAC消費税法2級								
参考文献	TAC日商1級の中答練および日商1級過去問題集、全経所得税法最新過去問題集、全経消費税法最新過去問題集								
評価の方法や基準	授業態度・提出物・定期試験								
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									
実務経験									
実務経験の活かし方									
履修上の注意事項	基本的な計算方法を復習し、応用問題に活かすこと。								

授業科目	工業簿記・原価計算Ⅱ			単位/時間	330h		
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員	湯浅 寿子		
授業の目的・テーマ	工企業における簿記の仕組みをより深く理解し、財務会計における考え方や計算方法および帳簿記入のみならず、管理会計における業績評価目的や経営意思決定目的を達成するための様々な手法を学習する。						
授業の到達目標	日商簿記検定1級合格レベルの知識を習得する。						
授業の計画	1	12/3	3h	全経所得税法2級過去問答案練習③	26		
	2	1/20	3h	全経消費税法2級基礎知識①	27		
	3	1/21	3h	全経消費税法2級基礎知識②	28		
	4	1/22	2h	全経消費税法2級過去問答案練習①	29		
	5	1/24	3h	全経消費税法2級過去問答案練習②	30		
	6	1/27	3h	全経消費税法2級過去問答案練習③	31		
	7	1/28	3h	全経消費税法2級過去問答案練習④	32		
	8	1/29	2h	全経所得税法2級過去問答案練習④	33		
	9	1/31	3h	全経所得税法2級過去問答案練習⑤	34		
	10				35		
	11				36		
	12				37		
	13				38		
	14				39		
	15				40		
	16				41		
	17				42		
	18				43		
	19				44		
	20				45		
	21				46		
	22				47		
	23				48		
	24				49		
	25				50		
授業の方法	講義及び答案練習						
テキスト	TAC日商簿記1級工業簿記・原価計算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 合格テキスト・トレーニング、TAC所得税法2級、TAC消費税法2級						
参考文献	TAC日商1級の中答練および日商1級過去問題集、全経所得税法最新過去問題集、全経消費税法最新過去問題集						
評価の方法や基準	授業態度・提出物・定期試験						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験							
実務経験の活かし方							
履修上の注意事項	基本的な計算方法を復習し、応用問題に活かすこと。						

授業科目	プレゼンテーション			単位/時間	39h		
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員	柏原 衣梨奈		
授業の目的・テーマ	誰に、何を、どのように伝えるのか、相手に伝える能力を身に付ける。伝えたいことを視覚的にアピール、印象付けすることができるPowerPointを使った資料作成の方法を習得する。グループでの作業では意見交換や役割分担、協調することを経験し、協同作業の重要性を学ぶ。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> PowerPointを使って効果的なスライド作成ができる。 目的に応じたプレゼンテーションができる。 						
授業の計画	1	4/17	3h	プレゼンテーションとは	26		
	2	4/27	3h	PowerPoint基礎知識、操作実習	27		
	3	5/1	3h	PowerPoint演習問題	28		
	4	5/8	3h	PowerPoint演習問題	29		
	5	5/15	3h	プレゼンテーションの準備と実施	30		
	6	5/22	3h	①個人プレゼン：作成	31		
	7	5/29	3h	①個人プレゼン：発表	32		
	8	6/5	3h	②グループプレゼン：作成	33		
	9	6/19	3h	②グループプレゼン：作成	34		
	10	6/26	3h	②グループプレゼン：作成	35		
	11	7/3	3h	②グループプレゼン：発表(1)/評価	36		
	12	7/8	3h	③グループプレゼン：修正	37		
	13	7/15	3h	③グループプレゼン 発表(2)/まとめ	38		
	14				39		
	15				40		
	16				41		
	17				42		
	18				43		
	19				44		
	20				45		
	21				46		
	22				47		
	23				48		
	24				49		
	25				50		
授業の方法	講義、実習						
テキスト	30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint2016、プリント						
参考文献	なし						
評価の方法や基準	出席状況、授業態度、提出課題、発表の評価を総合的に判断する						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験							
実務経験の活かし方							
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 課題の締め切りは厳守すること 配布したプリントは各自保管をすること。再配布は行わない。 						

授業科目	コンピュータ会計		単位/時間	26h	
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース		担当教員	森 憲朗	
授業の目的・テーマ	1年次で学んだ簿記を復習しながら、実務で使われているコンピュータ会計（弥生会計）をマスターする。演習を通じてコンピュータ会計の仕組みを学習する。				
授業の到達目標	会計ソフトの仕組みを理解し、企業の状況を把握出来るようになる。 また、全国経理教育協会主催コンピュータ会計能力検定3級の合格を目指す。 目標とする全経コンピュータ会計検定は、令和6年7月27日に実施される。				
授業の計画	1	2h	会計ソフトの仕組み・入力の仕方	26	
	2	2h	毎日の業務の処理内容と入力練習	27	
	3	2h	期中取引から月末処理にかかる一連の処理	28	
	4	2h	データから、情報の検索の仕方を学ぶ	29	
	5	2h	入力練習及び企業の状況の把握	30	
	6	2h	過去問演習及び解説	31	
	7	2h	過去問演習及び解説	32	
	8	2h	過去問演習及び解説	33	
	9	2h	過去問演習及び解説	34	
	10	2h	過去問演習及び解説	35	
	11	2h	過去問演習及び解説	36	
	12	2h	過去問演習及び解説	37	
	13	2h	過去問演習及び解説	38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義及びパソコンを使用しての実技				
テキスト	全国経理教育協会出版 最新過去問題集				
参考文献	コンピュータ会計基本問題集				
評価の方法や基準	出欠席、授業態度、課題の提出、答案練習結果、学期末テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	授業内に指定された課題が終わらなければ、放課後に残って終わらせることになる。 検定試験の週では、補講を実施する。電卓は必ず持参（検定試験でも使用する）				

授業科目	パソコン実習Ⅱ		単位/時間	42
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース		担当教員	西 次郎
授業の目的・テーマ	E x c e l 2 0 1 6 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。			
授業の到達目標	サーティファイExcel表計算処理技能認定試験 3級に合格にできるレベルの技術の習得を目指す。			
授業の計画	1	授業説明・ソフトウェアの説明	26	データベース
	2	E x c e l 2016の基礎知識	27	〃
	3	E x c e l 入門 (関数の基礎)	28	E x c e l の応用 (関数を使った応用)
	4	ワークシートの活用① (基礎の学習)	29	〃
	5	〃	30	〃
	6	〃	31	〃
	7	〃	32	〃
	8	〃	33	〃
	9	〃	34	〃
	10	ワークシートの活用② (応用の学習)	35	〃
	11	〃	36	〃
	12	〃	37	復習 (前期課題範囲)
	13	〃	38	〃
	14	〃	39	〃
	15	〃	40	〃
	16	グラフ作成① (基本的なグラフ作成)	41	〃
	17	〃	42	前期課題作成 (提出)
	18	〃	43	
	19	〃	44	
	20	〃	45	
	21	〃	46	
	22	データベース	47	
	23	〃	48	
	24	〃	49	
	25	〃	50	
授業の方法	パソコンを使用した実習			
テキスト/参考文献	実教出版「30時間でマスター E x c e l 2 0 1 6」 サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集			
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)			
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。			
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。			

授業科目	パソコン実習Ⅱ	単位／時間	30
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース	担当教員	西 次郎
授業の目的・テーマ	E x c e l 2 0 1 6 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。		
授業の到達目標	サーティファイExcel表計算処理技能認定試験 3級合格を目指す。		
授業の計画	1	練習問題1 (解説)	26 模擬問題 (本番形式)
	2	〃	27 〃
	3	練習問題2 (解説)	28 〃
	4	〃	29 課題提出
	5	練習問題3 (解説)	30 〃
	6	〃	31
	7	模擬問題1 (解説)	32
	8	〃	33
	9	模擬問題2 (解説)	34
	10	〃	35
	11	模擬問題3 (解説)	36
	12	〃	37
	13	模擬問題4 (解説)	38
	14	〃	39
	15	模擬問題5 (解説)	40
	16	〃	41
	17	模擬問題6 (解説)	42
	18	〃	43
	19	模擬問題7 (解説)	44
	20	〃	45
	21	模擬問題 (本番形式)	46
	22	〃	
	23	〃	
	24	〃	
	25	〃	
授業の方法	パソコンを使用した実習		
テキスト/参考文献	実教出版「30時間でマスター E x c e l 2 0 1 6」 サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集		
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)		
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。		
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。		

授業科目	会社実践			単位/時間	10h		
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員	湯浅 寿子		
授業の目的・テーマ	事務職にとっては必要な資質である丁寧な文字の書き方を基本から学び、ビジネス文書や手紙の書き方などを習得する。						
授業の到達目標	お世話になった方へのお礼状を手書きで書けるようになる。						
授業の計画	1	8/29	1h	ひらがなの書き方①	26		
	2	9/5	1h	ひらがなの書き方②	27		
	3	9/12	1h	カタカナの書き方	28		
	4	9/19	1h	漢字①	29		
	5	9/26	1h	漢字②	30		
	6	10/3	1h	漢字③熟語・漢数字	31		
	7	10/10	1h	漢字④地名	32		
	8	11/28	1h	漢字⑤氏名	33		
	9	1/23	1h	手紙①お礼状（下書き）	34		
	10	1/30	1h	手紙②お礼状（清書）	35		
	11				36		
	12				37		
	13				38		
	14				39		
	15				40		
	16				41		
	17				42		
	18				43		
	19				44		
	20				45		
	21				46		
	22				47		
	23				48		
	24				49		
	25				50		
授業の方法	講義及び実習						
テキスト	ビジネス文書実務・ペン字練習帳						
参考文献	無し						
評価の方法や基準	授業態度・提出物 ※同じ科目のシラバスが複数ある場合は「授業内容ごとの点数×授業時間の割合」の合計で計算して評価する。						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験							
実務経験の活かし方							
履修上の注意事項	丁寧に心を込めて書くことを心掛けること。						

授業科目	会社実践			単位/時間	15h		
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員	湯浅 寿子		
授業の目的 ・テーマ	一年次に習得した簿記の知識を活かし、実践形式で実務を学ぶ。						
授業の 到達目標	証票に基づいた期中事務処理から決算までの流れを習得する。 また、給与計算や年末調整を習得する。						
授業 の 計 画	1	8/28	1h	社会保険の仕組みと作成書類	26		
	2	9/4	1h	労働保険の仕組みと作成書類	27		
	3	9/11	1h	年末調整（源泉徴収簿等の記入方法）	28		
	4	9/18	1h	年末調整（源泉徴収簿等の記入方法）	29		
	5	9/25	1h	法定調書の記入方法	30		
	6	10/2	1h	法定調書の記入方法	31		
	7	10/9	1h	法定調書の記入方法	32		
	8	10/16	1h	法人税の基礎知識	33		
	9	10/23	1h	法人税確定申告書の記入方法	34		
	10	10/30	1h	消費税の基礎知識	35		
	11	11/6	1h	消費税確定申告書の記入方法	36		
	12	11/13	1h	消費税確定申告書の記入方法	37		
	13	11/27	1h	所得税の基礎知識	38		
	14	1/22	1h	所得税確定申告書の記入方法	39		
	15	1/29	1h	所得税確定申告書の記入方法	40		
	16				41		
	17				42		
	18				43		
	19				44		
	20				45		
	21				46		
	22				47		
	23				48		
	24				49		
	25				50		
授業の方法	講義及び実習						
テキスト	TAC 書き込み式で経理実務が身につく本						
参考文献	無し						
評価の方法 や基準	授業態度・提出物 ※同じ科目のシラバスが複数ある場合は「授業内容ごとの点数×授業時間の割合」の合計で計算して評価する。						
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						○	
実務経験	個人企業における経理事務						
実務経験の 活かし方	帳簿書類の記入の仕方や、官公庁などへの提出書類について実体験を基にした講義を行う。						
履修上の 注意事項	配布資料や提出物などは「会社の共有財産」ということを意識し、管理・保管に注意を払うこと。						

授業科目	ビジネス実務Ⅱ			単位/時間	28h			
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース			担当教員	湯浅 寿子			
授業の目的・テーマ	前期13時間は社会人として必要なマナーの基礎的知識を習得する。 後期15時間は15種類のケースに基づいて「考える視点」を学び、クラス内で意見を交換し合いながら、社会人としての心構えや、仕事の仕方を習得する。							
授業の到達目標	社会人としての常識や仕事の対する心構えと考え方を習得する。							
授業の計画	1	4/16	1h	マナー・プロトコール検定対策	26	11/28	1h	目標設定の仕方
	2	4/23	1h	マナー・プロトコール検定対策	27	1/23	1h	柔軟な発想力
	3	4/30	1h	マナー・プロトコール検定対策	28	1/30	1h	求められる人物像とは
	4	5/7	1h	マナー・プロトコール検定対策	29			
	5	5/14	1h	マナー・プロトコール検定対策	30			
	6	5/21	1h	マナー・プロトコール検定対策	31			
	7	5/28	1h	マナー・プロトコール検定対策	32			
	8	6/4	1h	マナー・プロトコール検定対策	33			
	9	6/18	1h	マナー・プロトコール検定対策	34			
	10	6/25	1h	マナー・プロトコール検定対策	35			
	11	7/2	1h	マナー・プロトコール検定対策	36			
	12	7/9	1h	マナー・プロトコール検定対策	37			
	13	7/16	1h	マナー・プロトコール検定対策	38			
	14	8/29	1h	優先順位をつける	39			
	15	9/5	1h	問題を見つけ、解決する	40			
	16	9/12	1h	相手を思いやる心	41			
	17	9/19	1h	自己分析を行い、改善点を見つける	42			
	18	9/26	1h	確認することの大切さを学ぶ	43			
	19	10/3	1h	仕事の効率性を考える	44			
	20	10/10	1h	次にどうなるかを考えて行動する	45			
	21	10/17	1h	相手の立場に立って考える	46			
	22	10/24	1h	広い視点で考える	47			
	23	10/31	1h	報告・連絡・相談の大切さ	48			
	24	11/7	1h	仕事の段取りを考え、計画を立てる	49			
	25	11/14	1h	失敗の原因を考える	50			
授業の方法	講義							
テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識							
参考文献	たった5秒思考を変えるだけで、仕事の9割はうまくいく（鳥原隆志著）							
評価の方法や基準	授業態度・提出物 ※複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								
実務経験								
実務経験の活かし方								
履修上の注意事項	学生と社会人の違いを意識しながら学習すること。							

授業科目	ビジネス実務Ⅱ			単位/時間	71h			
開講学科等	会計ビジネス学科2年 1級コース			担当教員	猪川 瑛梨			
授業の目的 ・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間2分×3セットの言語化トレーニングをおこない社会人として大切な【表現力・語彙力】を高める ・自ら考え行動できる新入社員になれるよう、ビジネスマナーの基礎・応用を学ぶ 							
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の言語化トレーニングにより、適切な言葉遣いで分かりやすく伝えられることを目標とする ・最初から最後まで気を抜かない慎んだ振る舞いや、相手を思いやった行動ができるようになる ・マナー・プロトコル検定3級合格を目標とする 							
授業 の 計 画	1	4/16 (水)	2h	検定対策 (P1～P14前半)	26	11/27	3h	言語化トレーニング/テーブルマナー (西洋料理)
	2	4/23	2h	検定対策 (P14後半～P26)	27	1/22	3h	言語化トレーニング/メールのマナー・贈り物のマナー
	3	4/30	2h	検定対策 (P29～P44)	28	1/29	3h	上司や先輩に共感されるコミュニケーション/筆記テスト
	4	5/7	2h	検定対策 (P45～P59)	29			
	5	5/14	2h	検定対策 (P60～P72)	30			
	6	5/21	2h	検定対策 (P73～P91)	31			
	7	5/28	2h	検定対策 (P92～P106)	32			
	8	6/4	2h	検定対策 (P107～P120)	33			
	9	6/18	2h	検定対策 (P121～P128)	34			
	10	6/25	2h	検定対策 (P129～P137)	35			
	11	7/2	2h	マナー・プロトコル検定過去問題①/復習/解説	36			
	12	7/9	2h	マナー・プロトコル検定過去問題②/復習/解説	37			
	13	7/16	2h	マナー・プロトコル検定過去問題③/復習/解説	38			
	14	8/28 (水)	3h	言語化トレーニング/名刺交換/P25魅力ある表情	39			
	15	9/4	3h	言語化トレーニング/電話応対/P25魅力ある表情 (電話機使用)	40			
	16	9/11	3h	言語化トレーニング/電話応対/P25魅力ある表情 (電話機使用)	41			
	17	9/18	3h	言語化トレーニング/電話応対/P25魅力ある表情 (電話機使用)	42			
	18	9/25	3h	言語化トレーニング/受付対応	43			
	19	10/2	3h	言語化トレーニング/受付対応	44			
	20	10/9	3h	言語化トレーニング/茶菓対応	45			
	21	10/16	3h	言語化トレーニング/茶菓対応	46			
	22	10/23	3h	言語化トレーニング/結婚式参列マナー	47			
	23	10/30	3h	言語化トレーニング/結婚式参列マナー	48			
	24	11/6	3h	言語化トレーニング/葬儀のマナー	49			
	25	11/13	3h	言語化トレーニング/テーブルマナー (和食)	50			
授業の方法	レクチャー・ロールプレイング							
テキスト	日本マナー・プロトコル協会 マナー・プロトコルの基礎知識							
参考文献	ウイネット 実践ビジネスマナー/コスモトウワン今すぐ人間関係が変わる!魔法の「共感力」レッスン 瞬時に「言語化」できる人が、うまくいく							
評価の方法 や基準	出席率・態度・身だしなみ・演習の取り組み方・課題・筆記テスト・実技テスト 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する							
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○							
実務経験	ホテル・レストランにてウェディングプランナー業務/新入社員教育を担当							
実務経験の 活かし方	社会人として必要な心構えやマナーについて、また来客応対や電話応対等の演習に活かす							
履修上の 注意事項	挨拶の励行や正しい言葉遣いを身に付けるとともに、適切な態度で授業に臨むことを求める							

授業科目	一般常識Ⅱ		単位／時間	13h	
開講学科等	会計ビジネス学科2年1級コース		担当教員	森 憲朗	
授業の目的 ・テーマ	一般常識に関する問題演習を行うことで、社会人として必要な知識を習得する。				
授業の 到達目標	就職試験の筆記試験に対応できる知識を身につける。				
授業の 計画	1	1h	3分間常識4月分	26	
	2	1h	3分間常識4月分	27	
	3	1h	3分間常識4月分 確認テスト	28	
	4	1h	3分間常識5月分	29	
	5	1h	3分間常識5月分	30	
	6	1h	3分間常識5月分	31	
	7	1h	3分間常識5月分 確認テスト	32	
	8	1h	3分間常識6月分	33	
	9	1h	3分間常識6月分	34	
	10	1h	3分間常識6月分 確認テスト	35	
	11	1h	3分間常識復習	36	
	12	1h	3分間常識復習	37	
	13	1h	3分間常識復習	38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	問題演習				
テキスト	無し				
参考文献	月別常識問題、クリア！テストセンター・SPI3、高校生の就職試験 基礎から解けるSPI				
評価の方法 や基準	授業態度、出席状況、3分間常識月末テスト結果 (平均80点を合格ラインとし、不合格の者には課題を与える)				
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の 活かし方					
履修上の 注意事項	配布する資料はファイルに挟んで管理すること。基本的に再配布は行わない。				